

社会調査演習

第4回

2023/05/11

報告書の講読 おつかれさまでした

- こんなものを最終的に書き上げるのが目標
 - ◆考え方・書き方を理解し、それなりに頑張れば、書けているはずですよ
- 今日からの一連の授業の目標は、本論文を理解すること
- ではありません
- この論文を書き上げるために必要なことを理解すること**
 - ◆裏事情も含めて説明します
- 疑問点がたくさん挙げられていました
 - 適正なものが多く、安心しました
 - ◆一連の授業のなかで、おおよそどこかで答えていきます
 - ◆授業を聞いて一緒に考えてください

意義について

- 論文読んでどう感じましたか？

- 本報告書の大事な結論のひとつは、

- **学問の基礎の習得は、偏差値低ランクの大学の学生ほど効果が高い**

- 就活の場面を意識して
 - ◆ 勉強頑張ってきたということの印象の強さ
 - ▶ エントリーシートは、だいたいバイトかサークル
 - ◆ ただし、大事なものは「ちゃんとする」こと
 - ▶ 細部まで答えられること
 - ▶ 頑張ること

 - ◆ 就活での引き出しをひとつ増やすためにも良い経験にしてください

レポート・論文とはそもそも？

□ 作文・感想文

◆ 自分が考えたことを、わかりやすくまとめて書いたもの

◆ 「主観的」に書かれるもの

- しばしば「あなた自身」が評価される
- したがって、人間としての「あなた自身」を直接表現することが求められる

- 「あなた自身が感じたことを書きましょう」
- 「あなたの体験を盛り込みましょう」

◆ どうやって良い悪いを決める？？



エントリーシート！

レポート・論文とはそもそも？

名古屋大学附属中学校・高等学校国語科，2014，『はじめよう、ロジカル・ライティング』ひつじ書房。

□意見文

◆自分の主張や意見を論理的に書いたもの

◆「意見」とは？

- 他の考えを持つ人も認めざるをえないような、正当な内容であること
- 他の意見を持つ人も、この意見に従ってもらう価値（公共性）がある内容であること

◆以下のようなものは「意見」ではない

- 誤った事実に基づいているもの
- 個人的な趣味・好みを述べたもの
- 一部の人の利益しか表現していないもの

◆意見文には「目的」がある

- 自分の意見に説得力を持たせて、相手の考えや状況を変えること
 - ただ一方的に、自分の主張だけを書いても目的は達成できない



エントリーシート！

レポート・論文とはそもそも？

名古屋大学附属中学校・高等学校国語科，2014，『はじめよう、ロジカル・ライティング』ひつじ書房。

□ 論文

- ◆ これまで発見されていなかった**新しい事実**や**考え方**などの「意見」を、
- ◆ **客観的根拠**を使用してわかりやすく論理的に伝えるもの

□ 評価基準の最も重要な点は、この目的が達成されていること

- ~~◆ 面白い~~
- ~~◆ わくわくする~~
- ~~◆ 詩的で独創的な表現~~
- ~~◆ 書き手の「個性」が表現されている~~

□ 「客観的」？

- ◆ 手続きに再現性があること
- ◆ 誰にでも伝わること
 - 誤解の生じない文章であること
 - 「論理的」に書かれていること

レポート・論文とはそもそも？

戸田山和久，2022，『論文の教室——レポートから卒論まで』NHK出版

□論文には、型がある

- ◆論文とは、論文のかたちをした文章のこと
- ◆「**問い／主張／論証**」が基本のかたち

□与えられた問い、あるいは自分で立てた問に対して、

□一つの明確な答えを主張し、

□その主張を論理的に裏付けるための事実に・論理的な根拠を提示して
主張を論証する

論文の型をイメージする

□序論

- ◆論文の目的・意義・主張
- ◆全体のアウトライン

□本論

- ◆目的に対する論証

□結論

- ◆序論で設定した目的に対する答え

□その他

タイトル／サブタイトル
著者・所属
要約

問題関心
先行研究の検討
目的・問いの設定

仮説
データと方法
分析
考察

リサーチクエスチョン
データと方法
分析
考察

まとめ

注
引用文献
参考資料
謝辞など

論証の型

□論証の型

- ◆パターンA「こう思う、なぜなら」
 - ▶ いきなり答えを提示してしまう

仮説検証型

- ◆パターンB「いろいろ考えたらこうなりました」
 - ▶ 読者の思考の流れに合わせる

リサーチクエスチョン型

- ◆パターンC「そうじゃなくて、こうでしょ」
 - ▶ これまでの考え方を批判して、自分の主張の優越性を示す

先行研究の検討・批判

□実際には、明確に分かれるわけではない

- ◆より読者に伝わりやすい方法を選択する
- ◆「新しさ」を明確にするためには、Cは必ず含まれる

論文を書くこと

□論文とは、この「型」を持つ文章のこと

□「論文を書く」とは？

◆この「型」を持つ文章を書くこと

➤ 完成したときの全体の整合性があれば良い

◆順番に大切ではない

➤ 問い／主張／論証 を何度も往復することで完成を目指す

➤ 調査を実施するまでの過程は、

• 問い→主張（仮説）→論証

➤ 実際に文章を書き始めてからの過程は、

• 論証→主張（仮説）→問い

➤ 調査を実施し始めてから書き始めるまでは、

• 論証→主張（仮説）→問い→主張（仮説）→論証→主張（仮説）→問い→論証→・・・

➤ いつも「型」の全体の統一性を意識しながら進めていく必要がある

では、この論文では？

□序論

◆問題関心

- 満足な就職結果を得る学生は誰であり、そのために必要なことは何であるのか。
- 大学入学後の教育や活動は、就職結果に良い影響を与えることができないのだろうか
- 「主体性」や「学問の習得」、そして「大学の選抜性」の高さは、就職結果とどのような関係があるのか
- 「一度大学に入学してしまうと、入学後の大学での頑張りによって就職結果を変えることができなくなる」のか？

◆先行研究の検討

- 企業は学生に、「主体性」と「学問の修得」を求めている
- 「学歴」による格差もある

◆目的・問いの設定

- 満足な就職結果を得るのはどのような学生であるのかを明らかにすること
 - タイトルからも明らか

では、あなたは？

◆問題関心

- どんなことに関心を持っている？

◆先行研究の検討

- それを明らかにするために、どんな文献が必要？

◆目的・問いの設定

- どんなことが知りたい？ 明らかにしたい？

研究の方法

□ 問い

- ◆ 一度大学に入学してしまえば、入学後の大学での頑張りによって就職結果を変えることができなくなるのか？

□ その論証をするために、どんな方法がありうる？

研究の方法

□量的データと質的データ

◆量的データ

- 質問紙調査・アンケート
- 各種統計データ など

◆質的データ

- 量的データ以外のさまざまな雑多なデータ
- インタビューデータ
- 観察ノートのデータ
- 映像データ
- 画像データ
- 音声データ
- テキストデータ

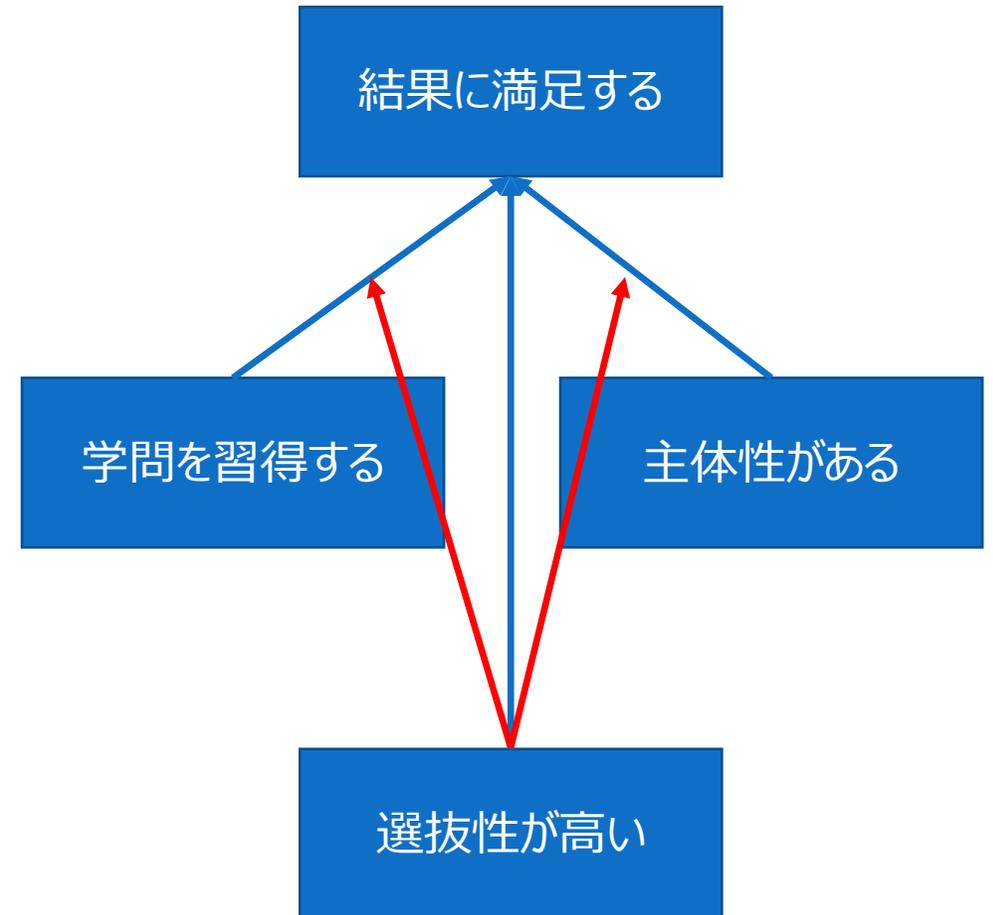
本論文が採用する方法

□ほんとうは、この区別より前に

- ◆統計的研究
- ◆事例研究
 - という区別がある

この論文では

- 論証を、仮説検証型で論じている
 - ◆ ほんとうはリサーチクエスチョン型でもよいが
- 論文としての大きな問いを5つの問に細分化
 - ◆ 1：選抜性の高い大学の学生ほど、満足な就職結果を得ている
 - ◆ 2：仕事に対して主体性のある学生ほど、満足な就職結果を得ている。
 - ◆ 3：大学の学問の基礎を習得した学生ほど、満足な就職結果を得ている。
 - ◆ 4：仕事に対して主体性があるほど満足な就職結果を得られるのは、あくまで選抜性の高い大学の学生に限られている。
 - ◆ 5：大学で学問の基礎を習得することで満足な就職結果を得られるのは、あくまで選抜性の高い大学の学生に限られている。
- ◆ **ここで登場する要素は？**



変数について

□ 2つ以上の物事の関係を検討

◆ 説明される変数

- 被説明変数
- 従属変数

◆ 説明する変数

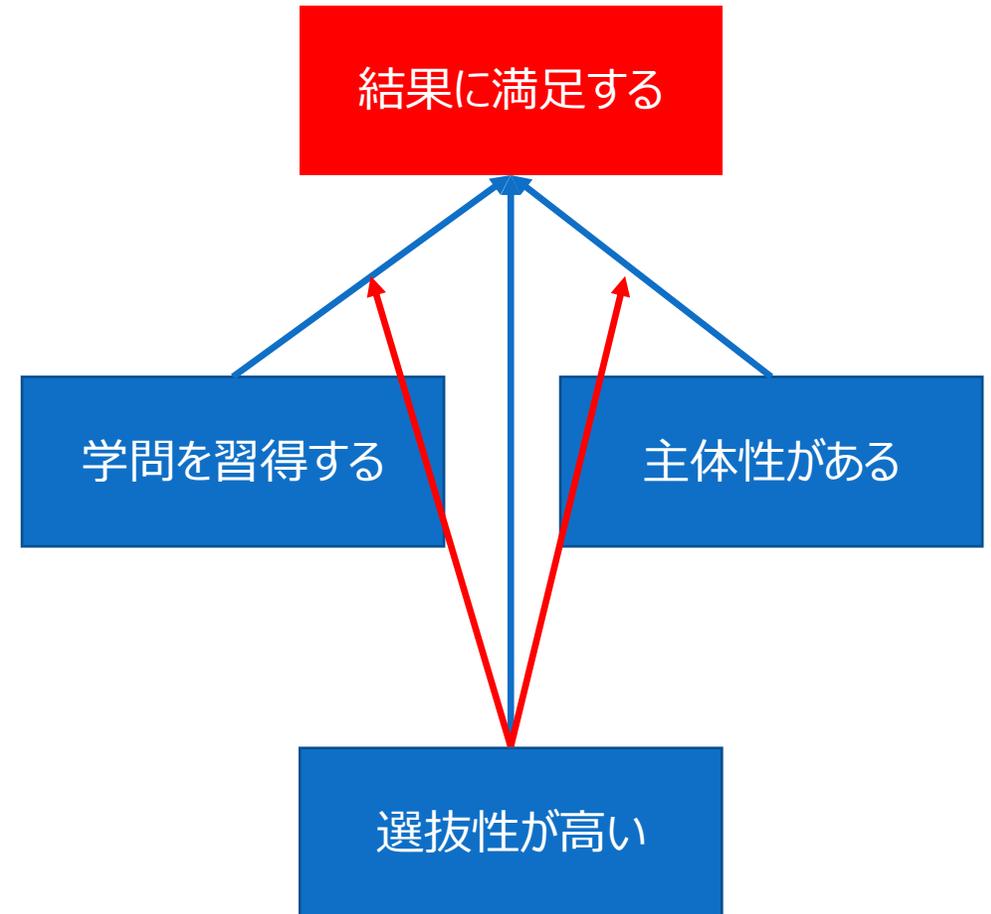
- 説明変数
- 独立変数

◆ 「従属」って？

- 独立変数の変化にしたがって変化するから

◆ 「独立」って？

- 説明する変数は複数あるから
- それぞれは「独立」として仮定している
 - 連動・関連しているわけではない
 - 従属と独立には関連があるのは前提



仮説について

□ 問い

- ◆ 一度大学に入学してしまえば、入学後の大学での頑張りによって就職結果を変えることができなくなるのか？

□ これを質問紙調査で論証をするために、何が必要？

- ◆ 従属変数：就職結果の良し悪し

- ◆ 独立変数：大学での頑張り